

令和7年度「京丹後市いじめ調査（2回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施 2名

【内訳】小1：1名、中1：1名

(2) 家庭訪問での調査 29名

【内訳】小1：1名、小2：1名、小4：2名、小5：1名
小6：2名、中1：7名、中2：9名、中3：6名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2236	1115
調査児童生徒数(人)	2235	1114
内家庭訪問での調査(人)	7	22
未調査児童生徒数(人)	1	1
実施率(%)	99.9	99.9

2 認知と解消について

(1) 認知件数と内訳

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	26	34	45	29	20	18	172	15	3	1	19		
	女子	29	29	36	22	18	9	143	7	6	0	13		
	合計	55	63	81	51	38	27	315	22	9	1	32		
未 解 消	A要指導	2	15	23	8	11	12	71	1	2	0	3	987	89
	B要支援	13	8	18	4	6	5	54	2	1	0	3	1,182	100
	C見守り	40	40	40	39	21	10	190	18	6	1	25	4,776	571
解消		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	141	19

A: 行為止んでおらず被害者の苦痛あり

B: 行為止んでいるが苦痛あり

C: 行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市いじめ調査2回目では、全ての小中学校でいじめを認知している。

イ 認知件数は小学校 315 件（1 回目調査 -6 件）中学校 32 件（1 回目調査 -17 件）

ウ 要指導・要支援件数の比較

	小学校				中学校			
	R6 1回目	R6 2回目	R7 1回目	R7 2回目	R6 1回目	R6 2回目	R7 1回目	R7 2回目
認知件数	345 件	316 件	321 件	315 件	32 件	30 件	49 件	32 件
要指導	87 件 (25.2%)	60 件 (19.0%)	48 件 (15.0%)	71 件 (22.5%)	1 件 (3%)	0 件	6 件 (12.2%)	3 件 (9.4%)
要支援	17 件 (4.9%)	48 件 (15.2%)	33 件 (10.3%)	54 件 (17.1%)	18 件 (56.3%)	17 件 (56.7%)	2 件 (4.1%)	3 件 (9.4%)

(2) 1 回目の追跡調査結果について

7年度1回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	合計
認知件数	41	57	73	70	45	33	319	30	13	6	49
転出児童生徒数	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0

【追跡調査の結果】

解消件数		41	52	70	59	38	29	289	25	9	3	37
(解消率)		100%	91%	96%	84%	84%	88%	91%	83%	69%	50%	76%
未 解 消	A 要指導	0	2	3	6	0	2	13	1	2	0	3
	B 要支援	0	1	0	1	3	0	5	0	1	1	2
	C 見守り	0	2	0	4	4	2	12	4	1	2	7

ア 1 回目調査で認知したいじめについては、小学校で約 90.6%、中学校で 75.5%が解消している。

イ 「A要指導」：小学校が 13 件（R6 同調査 17 件）、中学校 3 件（R6 同調査 0 件）

いったん指導により止んだ行為が 3 か月以内に再度繰り返されている。

ウ 「B要支援」：小学校 5 件（R6 同調査 7 件）、中学校 2 件（R6 同調査 1 件）、

エ 「C見守り」：小学校 12 件（R6 同調査 18 件）、・中学校 7 件（R6 同調査 1 件）

オ すべての事象について、児童生徒の状況に応じた指導と、児童生徒の気持ちが納得するまで、支援・見守りを継続することが重要と考えている。

3 態様の状況について

いじめの態様(複数回答)	小学校						中学校					
	京丹後市					京都府	京丹後市					京都府
	1回目		2回目		割合	2回目	1回目		2回目		割合	2回目
	人数	割合	人数	割合			人数	割合	人数	割合		
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	191	45.8%	185	47.9%	41.2%	34	58.6%	21	52.5%	50.7%		
仲間はずれ、集団による無視をされる。	47	11.3%	46	11.9%	13.0%	3	5.2%	1	2.5%	10.3%		
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりす	78	18.7%	60	15.5%	17.9%	6	10.3%	5	12.5%	12.9%		
ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	28	6.7%	35	9.1%	8.8%	1	1.7%	5	12.5%	5.5%		
金品をたかられる。	4	1.0%	0	0.0%	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1.0%		
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	13	3.1%	7	1.8%	3.6%	5	8.6%	0	0.0%	2.9%		
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたり	46	11.0%	34	8.8%	9.2%	3	5.2%	7	17.5%	7.4%		
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	2	0.5%	11	2.8%	1.8%	4	6.9%	1	2.5%	4.2%		
その他	8	1.9%	8	2.1%	2.9%	2	3.4%	0	0.0%	5.1%		
合 計	417		386			58		40				

ア 総態様件数：小学校 386 件（1 回目調査比-31 件）、中学校 40 件（1 回目調査比-18 件）

イ 小中学校とも、認知件数の減少に伴い態様件数が減少している。

ウ 小中学校とも「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様が最も多い。また、1 回目と同様京都府より高い。

エ 中学校は、「金品をたかられる」「パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」の態様の割合は京都府より低い。

オ 「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の内容については、小学校ではオンラインゲームやスマホ、中学校では TikTok でのトラブルがあげられている。

カ 「その他」の内容は、話を聞いてくれないなどがあげている。

4 いじめの「重大事態」について

2回目調査、および本日まで「重大事態」の認知及び発生はない。